

概要

スーパーキャパシタ FMD タイプは、電気二重層キャパシタ (EDLC) としても知られており、車載アプリケーションの電源バックアップを目的としています。

設計および材料の改良により、85°C /85%RH 定格電圧負荷 1,000 時間と最高使用温度 85°C で車載グレードの品質を実現しました。

このコンデンサは、IATF16949 認証工場で製造され、PPAP/PSW および変更管理が行われています。

用途

スーパーキャパシタは、従来のコンデンサから電池にわたる特性を持っています。そのため、スーパーキャパシタを直流回路に使用すると、二次電池のように使うことができます。

このデバイスは、フラッシュメモリーを用いた組み込みマイクロプロセッサシステムなど、低電圧用途の直流電圧保持用として使用するのが最適です。

スーパーキャパシタ車載グレード・FMD タイプは、高湿度や高温度などの厳しい環境下でも安定した性能を発揮します。

特長

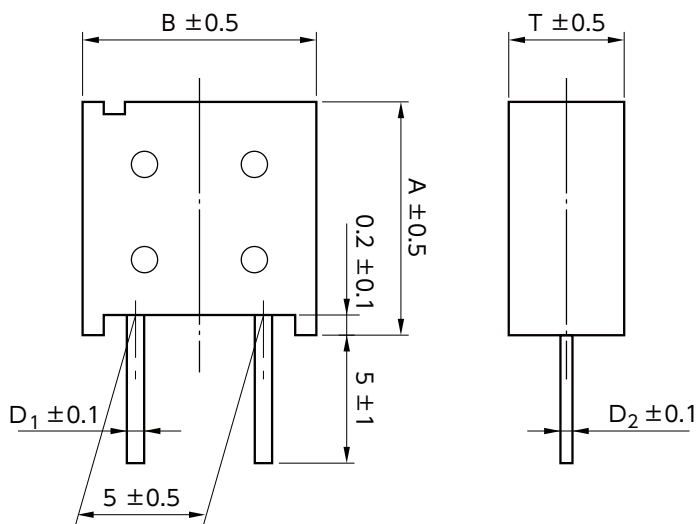
- ・車載グレード品質
 - 85°C 85% 高温高湿負荷 1,000 時間保証
 - 85°C 高温負荷 1,000 時間保証
- ・IATF16949 認証工場製造
- ・PPAP/PSW および変更管理実施
- ・広い使用温度範囲 -40°C ~ +85°C
- ・定期交換不要
- ・最高使用電圧 5.5 VDC
- ・液漏れに対する高い信頼性
- ・鉛フリー、RoHS 指令適合



品名呼称

FMD	0H	334	Z	F	TP
シリーズ(タイプ)	最大使用電圧	公称静電容量 (F)	静電容量許容差	環境	テーピングタイプ
FMD	0H = 5.5 VDC	第1数字および第2数字はマイクロファラッド(μF)の単位で表した有効数字とし、第3数字は有効数字に続くゼロの数を表す	Z = -20/+80%	F = 環境負荷物質対策品	TP = つづら折り表記なし = 単品

外形寸法 (mm)



品名	A	B	T	D ₁	D ₂
FMD0H334ZF	15	14	9	0.6	0.6

製品特性

スーパーキャパシタは、アルミ電解コンデンサに比べて内部抵抗が高い（数百 mΩ ~ 100 Ω）ため、リップル吸収などの用途には使用できません。したがって、直流回路の電源バックアップのような二次電池と同様な用途が主体となります。以下に電源バックアップ用途のアルミ電解コンデンサおよび二次電池と比較してスーパーキャパシタの特長を示します。

	二次電池		コンデンサ	
	NiCd	リチウムイオン	アルミ電解	スーパーキャパシタ
バックアップ能力	◎	◎	△	○
公害性	Cd	-	-	-
使用温度範囲	-20 ~ +60°C	-20 ~ +50°C	-55 ~ +105°C	-40 ~ +85°C (FMD, FU, FR, FT, FMR type)
充電時間	数時間	数時間	数秒	数秒
充放電寿命	500回程度	500 ~ 1,000回程度	無制限 (*1)	無制限 (*1)
充放電時の制限	あり	あり	なし	なし
フローソルダリング	不可	不可	可能	可能
自動実装対応	不可	不可	可能	可能 (FM and FC series)
安全性	液漏れ、破裂	液漏れ、燃焼、破裂、発火	発熱、破裂	ガス放出 (*2)

(*1) アルミ電解コンデンサおよびスーパーキャパシタには有限の寿命があります。しかし、適切な条件でご使用していただきますと、これらを組み込まれたセットの設計された寿命期間内は、十分に動作する性能をもっています。

(*2) 電解液（希硫酸）中の水分が水蒸気となり、ガスとして徐々にリークしますので危険はありません。ただし、急激に最大使用電圧を越えるような異常電圧を印加した場合などは液漏れ、破裂に至ることがあります。

用途

使用目的 (目安)	供給電源 (目安)	用途	対象機器例	シリーズ
長時間のバックアップ	500 μ A 以下	メモリー、車載RTC バックアップ	CMOS のマイクロコ ンピュータ、スタティッ ク RAM、DTS (デジタ ル・チューニング・シス テム)	FMD, FU0H シリーズ

環境対応

トーキンのスーパーキャパシタはすべて、RoHS に準拠しています。



表1 製品一覧

品名	最大使用 電圧 (VDC)	公称静電容量		等価直列抵抗 (at1kHz) Maximum (Ω)	電流 (30 分値) Maximum (mA)	自己放電特性 Minimum (V)	重量 (g)
		充電法静電容量 (F)	放電法静電 容量換算値 (F)				
FMD0H334ZF	5.5	-	0.33	25	0.50	4.2	3.8

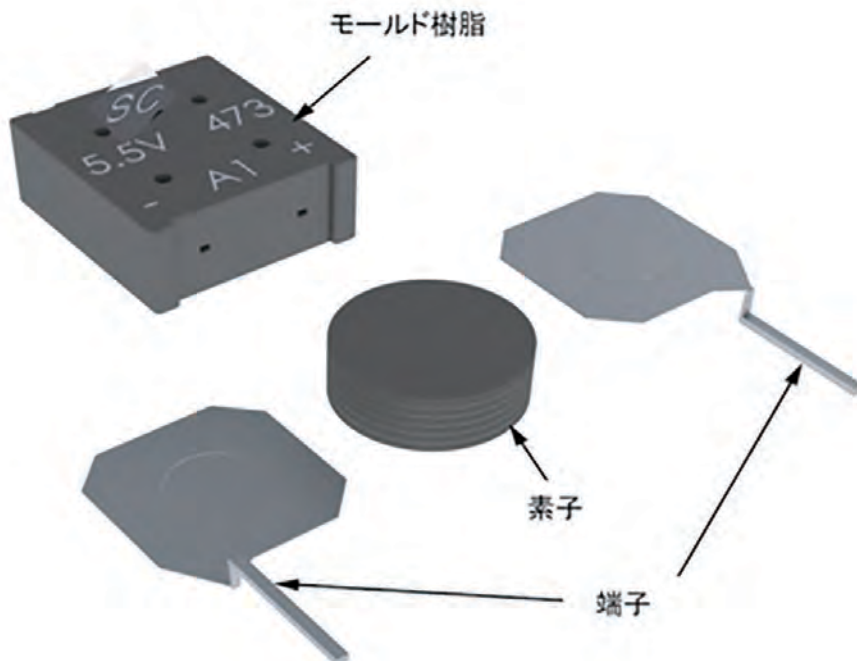
性能一覧表

項目		仕様	試験条件	
カテゴリ温度範囲		-40°C ~ +85°C		
最大使用電圧		規格一覧表による		
定格静電容量		規格一覧表による	測定方法参照	
静電容量許容差		+80%, -20%	測定方法参照	
等価直列抵抗 (ESR)		規格一覧表による	測定条件:1KHz, 10mA 測定方法参照	
電流 (30 分値)		規格一覧表による	測定方法参照	
自己放電特性 (電圧保持特性)		コンデンサ端子間電圧が4.2V 以上であること	充電条件	印加電圧: 5.0VDC 充電保護抵抗:0 Ω 充電時間:24 時間
			放電	端子開放にて下記の環境 に 24 時間放置 周囲温度:25°C以下 相対湿度:70% RH 以下
高温放置	MIL-STD-202 Method 108	静電容量	初期値の±30%以内	温度:85±2°C 試験時間: 1,000 (+48/-0) 時間
		等価直列抵抗	初期規格値の200%以下	
		電流 (30 分値)	初期規格値の200%以下	
温度サイクル	JESD22 Method JA-104	静電容量	初期値の±30%以内	温度条件:低温 -40°C、高温 +85°C さらし時間:30分 高温と低温との移し替え時間:最大1分 サイクル数:1,000 サイクル
		等価直列抵抗	初期規格値の200%以下	
		電流 (30 分値)	初期規格値の200%以下	
高温高湿 (負荷)	MIL-STD- 202 Method 103	静電容量	初期値の±30%以内	温度:85±2°C 相対湿度:80~85%RH 印加電圧:最大使用電圧 直列保護抵抗: 0 Ω 試験時間: 1 000 (+48/-0) 時間
		等価直列抵抗	初期規格値の200%以下	
		電流 (30 分値)	初期規格値の200%以下	
耐久性	MIL-STD- 202 Method 108	静電容量	初期値の±30%以内	温度: 85±2°C 印加電圧:最大使用電圧 直列保護抵抗: 0 Ω 試験時間: 1,000 (+48/-0) 時間
		等価直列抵抗	初期規格値の200%以下	
		電流 (30 分値)	初期規格値の200%以下	
端子強度	MIL-STD-202 Method 211		異常がないこと	試験条件A(引張り):454g 試験条件C(リード曲げ):227 g
衝撃	MIL-STD-202 Method 213	静電容量	初期規格値を満足すること	Method 213 Condition C 図1
		等価直列抵抗		
		電流 (30 分値)		
はんだ付け性	J-STD-002	外観	新しいはんだによって端子の 最低95%が覆われていること。	試験条件A1(スルーホール部品) 準拠 はんだ温度: 245±5°C 浸漬時間: 5 (+0/ -0.5) 秒 本体下端から1.27mmまで浸漬
振動	MIL-STD-202 Method 204	静電容量	初期規格値を満足すること	周波数: 10 to 2,000 Hz (5 g's) 試験時間: 12 時間
		等価直列抵抗		
		電流 (30 分値)		

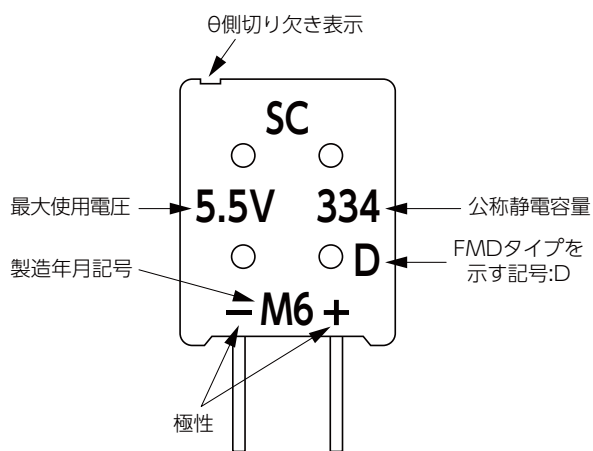
性能一覧表 (続き)

項目		仕様		試験条件	
はんだ耐熱性	MIL-STD- 202 Method 210	静電容量	初期規格値を満足すること	試験条件Bに準拠 はんだ温度: 260±10°C 浸漬時間: 10±1 秒 予熱無しで、本体の下端から1.27 mm まで浸漬	
		等価直列抵抗			
		電流 (30 分値)			
高温 および 低温特性	IEC-62391-1	静電容量	Phase2	初期値の 50% 以上	Phase1: +25±2°C Phase2: -25±2°C Phase3: -40±2°C Phase4: +25±2°C Phase5: +85±2°C Phase6: +25±2°C
		等価直列抵抗	Phase2	初期値の 400% 以下	
		静電容量	Phase3	初期値の30% 以上	
		等価直列抵抗		初期値の 700% 以下	
		静電容量	Phase5	初期値の 200% 以下	
		等価直列抵抗		初期規格値を 満足すること	
		電流 (30 分値)		1.5 CV (mA) 以下	
		静電容量	Phase6	初期値の± 20% 以内	
		等価直列抵抗		初期規格値を 満足すること	
		電流 (30 分値)		初期規格値を 満足すること	

構造



捺印表示

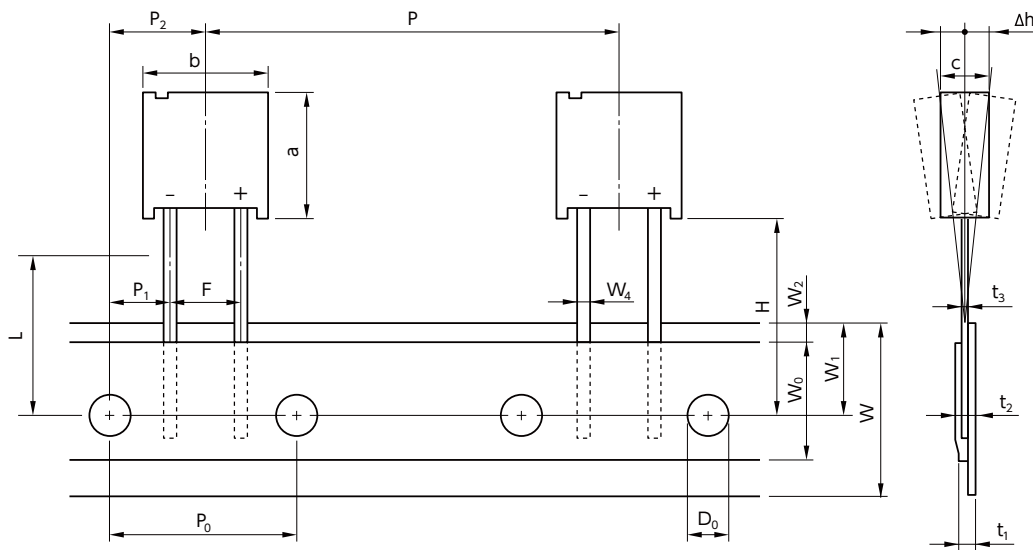


Example: FMD0H334ZF

梱包数量

品名	単品梱包数量/箱 ストレートリード	つづら折テーピング数量/箱
FMD0H334ZF	400 個	400 個

つづら折りテーピング仕様



項目	記号	寸法 (mm)
製品高さ	a	15.0 ± 0.5
製品幅	b	14.0 ± 0.5
製品厚み	c	9.0 ± 0.5
リード線幅	W_4	0.6 ± 0.1
リード線厚み	t_3	0.6 ± 0.1
製品間ピッチ	P	25.4 ± 1.0
送り穴ピッチ	P_0	12.7 ± 0.3
送り穴中心からリード中心まで	P_1	3.85 ± 0.7
送り穴中心から部品中心まで	P_2	6.35 ± 0.7
リード線間隔	F	5.0 ± 0.5
製品倒れ	Δh	2.0 Maximum
テープ幅	W	18.0 +1.0/-0.5
貼り付けテープ幅	W_0	12.5 Minimum
送り穴位置ずれ	W_1	9.0 ± 0.5
貼り付けテープずれ	W_2	3.0 Maximum
基底面までの高さ(リード長)	H	16.0 ± 0.5 / 18.0 ± 0.5
送り穴径	D_0	∅ 4.0 ± 0.2
キャリアテープ厚さ	t_1	0.67 ± 0.2
総厚(キャリアテープ、貼り付けテープ、リード)	t_2	1.7 Maximum
切断長	L	11.0 Maximum

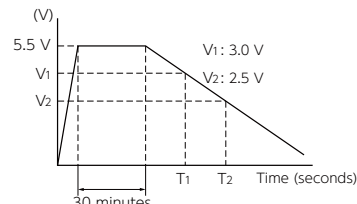
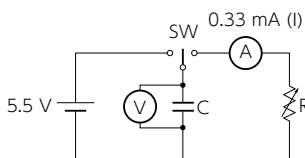
測定方法

静電容量 (放電法: 最大使用電圧 5.5V 品)

下図に示す回路においてコンデンサの端子電圧が 5.5V に到達後 30 分間充電を行う。次に定電流負荷装置を用い、0.33F あたり 0.33mA で放電したときの端子電圧が 3.0V から 2.5V に下がる時間を測定し、次の式により静電容量を算出する。

注) 定電流放電の電流値は 1F あたり 0.1mA

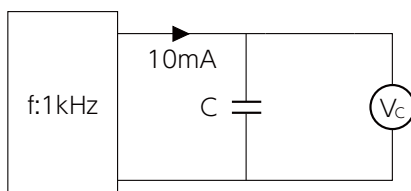
$$C = \frac{I \times (T_2 - T_1)}{V_1 - V_2} \text{ (F)}$$



等価直列抵抗 (ESR)

次の回路のように 1kHz の発振器を用いて、コンデンサ C に交流電流 10mA を流し、コンデンサ両端の電圧 V_C を測定して、下式により算出します。

$$ESR = \frac{V_C}{0.01} \text{ (}\Omega\text{)}$$



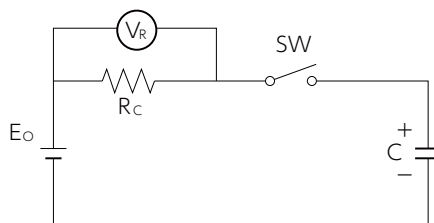
電流 (30 分値)

次の回路においてコンデンサ C に電圧を印加して 30 分後の直列抵抗 R_C 両端の電圧 V_R を測定して、下式により算出します。
(電圧の印加はコンデンサの端子間を 30 分以上短絡し、電位を十分に下げた後に行います)

$$E_0: 5.0 \text{ VDC}$$

$$R_C: 100\Omega$$

$$\text{Current} = \frac{V_R}{R_C} \text{ (A)}$$



自己放電特性 (最大使用電圧 5.5V 品の対象品のみ)

コンデンサを充電保護抵抗なしに電圧 5.0VDC にて 24 時間充電します。そして、端子間を開放にして周囲温度 25°C 以下、相対湿度 70% RH 以下の環境に 24 時間放置後、端子間に保持されている電圧を測定します。

スーパーキャパシタ (EDLCs) 使用上の注意事項

1. 回路設計

1.1 寿命について

スーパーキャパシタ (EDLC) は電解液を用い、ゴム等にて封止する構造です。高温で長時間使用されますと電解液中の水分が蒸散し、経時的に静電容量が減少し、内部抵抗が増大していきます。スーパーキャパシタの特性変化はご使用環境による影響が大きく、ご使用環境条件に余裕をもつことにより長い寿命を有する部品として使用することができます。基本的な故障モードは内部抵抗の増加によるオープンモードです。

1.2 フィールド故障率について

フィールドデータを元に故障率を計算しますと、約 0.006Fit になります。故障として当社へご連絡頂けない潜在故障がこの 10 倍と見込み、0.06Fit 以下と推定しました。

1.3 最大使用電圧を超える電圧印加について

最大使用電圧を超える電圧を印加しますと、性能を損なうばかりでなく、場合によっては漏液や破損等が起きる場合があります。

1.4 平滑用途 (リップル吸収) への使用について

スーパーキャパシタは内部抵抗が大きいため、電源回路の平滑用 (リップル吸収) に使用しないで下さい。リップル吸収に使用されますと、性能を損なうばかりでなく、場合によっては漏液や破損等が起きる場合があります。

1.5 直列接続について

スーパーキャパシタを直列接続して使用すると各スーパーキャパシタに印加される電圧のバランスがくずれ、過電圧が印加されるスーパーキャパシタが発生する場合があります。性能を損なうばかりでなく、場合によっては漏液や破損等が起きる場合があります。

直列に接続して使用する場合は、最大使用電圧に対するマージンを十分とるか各スーパーキャパシタに均等に電圧を印加する回路 (分圧抵抗器など) を付加してください。

また、各スーパーキャパシタ間に温度差が生じないように配置をしてください。

1.6 ケースの極性 (FMシリーズは除く)

スーパーキャパシタは外装ケース側端子を (-) 側として製造工程内で処理がされています。ご使用の際に (-) 側の記号に合わせてご使用ください。出荷時には放電処理しますが、残留電荷によって他部品に悪影響を与えることがあります。

1.7 発熱体近傍での使用について

発熱体 (コイル、パワートランジスタ、ポジスターなど) の近傍でスーパーキャパシタを使用しますとスーパーキャパシタ自体が加温され、寿命を著しく短くする可能性があります。

1.8 使用雰囲気について

酸、アルカリの雰囲気および同様の液体中の環境での使用はできません。

スーパーキャパシタ (EDLCs) 使用上の注意事項 (続き)

2. 実装

2.1 リフロー炉での実装について

FC シリーズを除いて、本コンデンサは IR・VPS 等のリフロー炉での実装は出来ません。また、はんだディップ槽にコンデンサ本体を浸漬することはお避けください。

2.2 フローはんだ付け条件について

フロー自動はんだ付けする場合、はんだ温度 260°C以下、はんだ通過時間を 10 秒以内としてください。(FC、HV シリーズは除く)

2.3 はんだごてによる取付けについて

はんだごてによるはんだ付けをする場合、製品本体にはんだごてが触れないようにしてください。はんだ付けはこて先温度 400°C以下、3 秒以内で実装してください。こての温度管理は確実に行ってください。必要以上に端子を加熱しますとコンデンサの内部抵抗が増加することがあります。

2.4 リード端子の加工について

コンデンサの端子を変形させたり、ヤスリなどで磨かないでください。端子上のめっきが取れてはんだが付かなくなることがあります。

2.5 洗浄、コーティング、ポッティング等について

FM シリーズ以外は基本的に洗浄、コーティング、ポッティング等を行わないでください。やむをえずこのような処理を行う場合にはご相談ください。

洗浄後の乾燥は最高使用温度以下で実施してください。

3. 保管

3.1 温湿度条件

温度：5 ~ 35°C (標準 25°C)、湿度：20 ~ 70% (標準 50%)、急激な温度変化で結露しないようにして下さい。

3.2 環境条件

亜硫酸ガスなどリード端子表面を侵す腐食性ガスがないようにして下さい。

ホコリなど塵埃が少ない環境に保管して下さい。

梱包材が変形するような荷重、振動、衝撃が加わらないようにして下さい。

直射日光、放射線、静電気、強磁界にさらされないようにして下さい。

3.3 保管期限

上記の条件を満足した環境下で、納入後 1 年を基準とします。

また、1 年を過ぎた製品に関しましては、直ちに不良に結びつくものではありませんが、環境依存性の大きいはんだ付け性などの確認を推奨します。

4. 分解等

本コンデンサ内部には微量の電解液が入っています。手等に触れますと薬傷の原因となりますので分解しないでください。廃棄にあたっては焼却せず、産業廃棄物として処置してください。

株式会社トーキン営業拠点

営業拠点の全リストについては、www.tokin.com/info/network をご覧ください。

KEMETエレクトロニクス株式会社営業拠点

グローバルな営業拠点の全リストについては、www.kemet.com/sales をご覧ください。

免責事項

- (1) 一般的に電子部品はある確率で故障します。当社としても製品の品質、信頼性の向上に努めていますが、その確率をゼロにすることは不可能です。つきましては、当社製品のご使用にあたりましては、その製品の故障の発生を考慮して、人身事故、火災事故、社会的な損害等に対する冗長設計、延焼対策設計、誤作動防止設計等の安全設計をお願いいたします。
- (2) 当社は、当社製品の品質水準を、「標準水準」、「特別水準」および、お客様に個別に品質保証プログラムをご指定して頂く「特定水準」に分類しています。なお、当社製品のカタログ、データシート、データブック等の資料で、特に品質水準の表示がない場合は、当該製品は標準水準であることを表します。
各品質水準は以下に示す用途に、製品が使われることを意図しています。
標準水準：コンピュータ、OA 機器、通信機器、パーソナル機器、家電、AV 機器、計測機器、IT 機器、工作機械、産業用ロボット等
特別水準：輸送機器（自動車、列車、船舶等）の制御ユニット、交通用信号機器、防災／防犯装置、各種安全装置、生命維持を直接の目的としない医療機器等
特定水準：航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力発電制御システム、生命維持のための医療機器、装置またはシステム等
つきましては、「標準水準」に示す用途以外でご使用をお考えの場合は、必ず事前に当社販売窓口までご相談いただきますようお願いいたします。
- (3) 本資料に記載されている内容は 2023 年 10 月現在の資料に基づいたもので、今後、予告なく変更する場合があります。量産設計の場合は、念のため、当社販売部門にお問い合わせ下さい。
- (4) ご使用に際しては納入仕様書をご請求の上、内容をご確認することをお奨めします。
また、本資料の記述内容は、部品単体での特性、品質を保証するものですので、ご採用される製品に実装された状態で、評価・確認を行ってください。
なお、本資料に記載されている特性、定格、使用範囲を逸脱してご使用された結果、発生した不具合につきましては、当社はその責を負いませんのでご了承ください。
- (5) この製品を使用したことにより、第三者の工業所有権等にかかわる問題が発生した場合、当社製品の構造・製法に直接かかわるもの以外につきましては、当社はその責を負いませんのでご了承ください。
- (6) 本製品が外国為替及び外国貿易法の規定により規制貨物など（または役務）に該当する場合には、日本国外に輸出する際に、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
- (7) 本製品は輸出令別表第 1 の 16 項の対象貨物です。従い当該貨物を輸出令別表第 3 に掲げる国以外へ輸出する場合には、客観条件における最終需要者の用途、取引の態様、条件等からみて、大量破壊兵器等への開発などに用いられないことが明らかな場合を除き、経済産業大臣の輸出許可が必要です。
- (8) 米国輸出規制対象品目の場合は、組込比率や仕向け国等により米国政府の許可が必要な場合があります。
組込み製品の許可の要否、許可手続き等は貴社にてご判断ください。
- (9) 文書による当社の許諾なしに本資料の転載複製を禁じます。